

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	都市空間

●目指す姿

- 計画的な市街地の形成、適正な土地利用が図られています。
- 公共施設のバリアフリー化など安全で快適な市街地整備が推進されています。
- 適切な景観、開発、建築指導により、質の高いまちなみが形成されています。
- 豊かな自然が保全されているとともに、緑あふれる公園が適切に維持管理されています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）自然と調和した美しいまちなみが整っていると感じる市民の割合	69.7%	－	66.3%				UP	都市計画課
（主）歩道を安心して通ることができると感じる市民の割合	51.9%	－	45.8%				UP	道路課
（客）都市緑化に対する助成件数	446件	504件	531件				600件	河川公園課

●施策の方向性①適正な土地利用の推進

事業番号	71101	事業名	ごんぼ積み地区都市再生整備事業	担当課	都市計画課
事業概要	歴史的文化遺産である「ごんぼ積み」の活用により、魅力・活気あふれるまちづくりを推進し、安心して楽しめる沿道空間を創出するため、ごんぼ積み集落のまちなみを再生する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 川島地区には「ごんぼ積み」集落が現存しているが、そこに住む市民はその希少性を認識していないため、この町並み景観を歴史的文化遺産として保全し、広くPRすることで、まちの魅力の向上と活気あふれるまちづくりを推進していく。 【課題】 ごんぼ積み集落のまちなみ再生は、都市再生整備計画に基づき平成26年度より5か年計画で整備している。整備予定である市道川40号線は、28年度より用地買収を行っているが、事業に対する理解が得られず契約未了の箇所がある。また29年度より、ごんぼ積みの沿道を回遊路として活用するための散策路整備も予定しており、事業内容について地元の理解を得ることが必要。 【対策】 今後もこれまで以上に、市民に対する説明会の開催や、地権者に対する個別説明を行うなど、様々な機会を通じて事業目的をしっかりと伝え、事業に対する理解と協力が得られるよう努め、平成30年度完了を目指し事業を推進する。				

事業番号	71102	事業名	木曽川～夢と浪漫～まちづくり事業	担当課	都市計画課
事業概要	「木曽川～夢と浪漫のまちづくり盟約」に基づき、木曽川を軸にして、犬山城下町と中山道鵜沼宿、村国座の観光拠点を、各務野歴史街道と本事業で整備する河畔遊歩道で結ぶ、周遊ネットワークの強化により、本市東部地区の観光交流人口の増加を図る。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 各務原東部には、「村国座、おがせ池、中山道鵜沼宿、大安寺川、名勝木曽川」など、歴史的・景観的に優れた拠点が数多く存在している。それらを遊歩道や案内看板によりネットワーク化することで、来訪者の増加による賑わいの創出や、ウォーキングによる市民の健康増進を図ることを目的に、平成24年度から28年度までの5か年で整備を行ってきた。 【課題】 整備した遊歩道が多くの市民に利用されるよう、また犬山城下町への観光客を各務原市へ誘致できるよう、歴史・景観拠点とそれらを繋ぐ遊歩道を広く周知する必要がある。 【対策】 遊歩道や歴史街道を活用したウォーキングイベントの実施や、ハイキングコースマップを駅などの拠点に配布することにより、外部への発信を行う。				

事業番号	71103	事業名	新加納地区都市再生整備事業(Ⅱ期)	担当課	都市計画課
事業概要	「中山道間(あい)の宿新加納」の歴史的まちなみを整備するとともに、良好な宅地化を行うため、周辺公共施設を整備するほか、土地区画整理支援を実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 「中山道間の宿新加納」の歴史的まちなみを整備するとともに、通学路となる那422号線に安全な歩行帯を設置する。また、周辺地域の景観に配慮した都市公園の整備のほか、地区内の土地区画整理事業を支援することで魅力と活気あふれるまちづくりを推進する。 【課題】 通学路の安全対策である那422号線整備は、地元より早期完成が望まれている。平成28年度より南から順次整備を進めており、今後は県道取り付け部分を施工する。この取り付け部は交通量が多く、また変則交差点のため、工事施工の際は交通規制や歩行者の誘導など万全の安全対策が必要である。 【対策】 工事の早期発注を行い、十分な工期を確保し、時間に余裕をもって安全に施工できるよう努める必要がある。また、工事期間中は信号による規制のほか、必要に応じ交通整理員を配置し、自動車の交通と歩行者の安全対策を徹底する。				

事業番号	71105	事業名	土地区画整理支援事業	担当課	都市計画課
事業概要	市街化区域で宅地利用が困難となっている未利用地において、組合施行による土地区画整理事業を実施し、優良な市街地を形成する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 市街化区域でありながら、宅地が不整形や未接道などの理由により、土地利用が図られていない土地の地権者に対し、土地区画整理事業の内容や効果について説明会及び個別説明を行った。 【課題】 地権者に事業計画を説明後、意向確認を行った結果、「未利用地解消に向け推進してほしい」という賛成者がいる一方、「土地を減らしたくない」等の反対意見もあり、全員同意が得られなかったため見送りとなった。 【対策】 賛成の地権者からは、区画整理事業を実施してほしいとの要望が寄せられているため、反対者に対し丁寧な説明を行い同意が得られるよう、区画整理組合立ち上げに向けた支援を行う。				

事業番号	71106	事業名	新那加駅周辺地区都市再生整備事業	担当課	都市計画課
事業概要	「新那加駅周辺地区バリアフリー基本構想」に基づき、新那加駅周辺の公共施設のバリアフリー化を推進し、高齢者、障害者等が移動しやすい、快適な市街地を整備する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 バリアフリー法対象となる名鉄新那加駅において、誰もが安全で快適に利用できるよう移動の円滑化と、段差解消、エレベーターの設置など、快適な駅利用を推進するための整備を行っている。 【課題】 名鉄が所有する新那加駅の改札口は、地下連絡通路内にあるため、バリアフリー化には地上と地下を連絡するエレベーターを設置する必要がある。地下連絡通路は、通学路にも指定されるなど駅利用者だけでなく線路を横断する通路としても利用しているため、エレベーターの設置者と維持管理者について、名鉄と協議し明確化する。 【対策】 名鉄所有の駅構内通路と市が整備した構内通路を一体的に利用することで、駅利用者以外も自由通路として通行が可能となっている。このような構造物の所有区分に応じた形態でエレベーターの設置者及び維持管理者が決定されるよう、協議をまとめていきたい。				

●施策の方向性②魅力的な都市空間の形成

事業番号	71201	事業名	空家等対策事業	担当課	まちづくり推進課 建築指導課
事業概要	今後も空き家の増加が予測され、効果的に流通促進を図ることが求められることから、国土交通省の賃貸借ガイドラインに基づき、旧耐震基準の空き家を含め、賃貸物件として借り主が自由にリノベーション可能な「借主負担DIY型契約」を用いることで、空き家を新たな形で市場に流通させていく。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・ 課題・対策	【現状】 市内の空き家は約13%であり、今後も少子高齢化に伴い、空き家率は増加の傾向にあると考えられる。地域への生活環境への影響を及ぼさないために対策が必要。そこで、空き家の適正管理と利活用を促進する事業を行い対策を進めている。平成28年度に実施したDIY型空き家リノベーション事業では、30代～40代の方で3件実績があった。 【課題】 今後も少子高齢化が進み空き家は増加すると予想されるため、より効果的な空き家対策を推進する必要がある。 【対策】 空き家の適正管理については、引き続き自治会やシルバー人材センター等と連携し事業を推進していく。空き家の利活用に関しては、DIY型空き家リノベーション事業を軸に、事業の周知と民間企業との連携を強化する。また、空き家の流通の促進にも重点をおいて取り組んでいく。特定空き家(危険な空き家)については、法律に基づいた措置を行えるように体制を整える。				

●施策の方向性③公園・緑地の保全

事業番号	71301	事業名	都市公園等整備事業(補助)	担当課	河川公園課
事業概要	施設の老朽化、公園利用者のニーズを踏まえ、市民の憩いの場やレクリエーション活動の拠点となる緑豊かな公園をリニューアル、または新規整備する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 全面芝生の公園にするなど、緑豊かな公園とするために、緑化面積を増やす整備を推進している。 【課題】 緑の基本計画に基づき、整備計画に位置づけられた地区から整備を進めているが、整備完了(効果発現)までに長い期間がかかる。 【対策】 ワークショップによる意見交換を実施し、地区内の公園整備の優先順位など地域の要望を反映させ、整備による効果を早期に発現できるようにする。				

事業番号	71302	事業名	緑化推進事業	担当課	河川公園課
事業概要	市内の公園(自然遺産の森及び河跡湖公園)における緑化イベントや市民ボランティア等と連携した公共の花壇等への花苗などの植栽、接道・屋上・壁面緑化など市民による各種緑化活動への助成などにより、市民への緑化啓発を推進する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 「たけのこまつり」「河跡湖フェスティバル」の緑化イベントの開催や、花苗等の配布、緑化活動への助成等による緑化啓発活動を実施している。 【課題】 ・イベント内容がマンネリ化しているため見直しが必要 ・無料配布するリサイクル堆肥については要望に対し全く足りていない。 ・緑化等補助制度についてまだまだ周知されていない。また、制度を活用しやすくする必要がある。 【対策】 ・来場者数を増やすために、既存の趣きを維持しながら新たなプログラムを追加するなどのイベントの見直しを行う。 ・堆肥の製造については、作業の効率化を図り、より多くの堆肥を製造する。 ・緑化補助についてはH28年度中に申請者の負担を減らすための事務手続きの簡素化を行った。 ・ブロック塀撤去についてはH28年度中に一部地区の通学路沿線の該当箇所を直接訪問し、職員による積極的な啓発活動を実施した。引続き地区を広げて活動していく。				

●施策の方向性④岐阜基地周辺環境の整備

事業番号	71401	事業名	学習等供用施設改修事業	担当課	総務課
事業概要	航空機騒音を緩和し、地域における学習及びコミュニケーションの場を提供するため、防衛省の補助金や交付金などにより建設された集会場のうち、経年により老朽化した施設を改修する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は柿沢ふれあいセンターの改修工事を行い、地域住民の集会、学習活動環境の向上を図ることができた。 また、前渡西町第1集会場の耐震補強等改修工事の設計を行い、地域住民が安心して利用できるよう、29年度にかけて改修工事を実施する。 【課題】 施設の経年劣化が進み、特に空調設備等の不具合が見受けられる施設が毎年複数箇所あり、改修工事計画が追いつかないケースがある。また、騒音測定の結果、建設当初の防衛省補助メニューが使用できない施設がある。 【対策】 施設の状態や市民からの要望等を踏まえ、改修計画を随時見直すとともに、防衛省の補助メニューを効率的に活用し、地域住民が安心して活動できるよう改修を進める。				

事業番号	71402	事業名	学習等供用施設建設事業	担当課	総務課
事業概要	航空機騒音の影響を受けている那加東新町地区において、自治会や地域の各種団体の活動を促進するため、防衛省補助により学習等供用施設を建設する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は提案競技方式により、当該施設の設計に最適な設計者を選定し、施設の設計を行った。 【課題】 今年度は建設工事に係る補助金の申請手続き等や契約事務、建設工事を計画通り遅滞なく進め、できるだけ早く供用を開始する。 【対策】 設計及び計画通り工事が進捗するよう管理していく。また、引き続き地域住民と連携を図り、できるだけニーズに合った施設の建設を目指すとともに、指定管理に関する手続きについても遺漏のないようにする。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	交通体系

●目指す姿

- 本市と近隣市町とを結ぶ主要な広域幹線道路が整備されています。
- 交通混雑箇所の解消、自転車利用を視野に入れた道路など、利便性や安全性の高い市内幹線道路が整備されています。
- 狭あい道路の改善や舗装、側溝整備など、身近な生活道路が整備されています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）円滑に移動できる道路網が整備されていると感じる市民の割合	53.8%	－	50.8%				UP	道路課
（客）市道整備（新設・改良）延長	－	1,169m	1,867m				7,000m	道路課
（客）狭あい道路整備件数	15件	23件	28件				45件	建築指導課
（客）歩道バリアフリー化整備延長	－	1,538m	2,264m				8,000m	道路課

●施策の方向性①広域幹線の整備

事業番号	72101	事業名	日野岩地大野線整備事業 （市道那378号線）	担当課	道路課
事業概要	自転車、歩行者の安全及び交通利便性を確保するため、市西部の広域幹線道路として、都市計画道路日野岩地大野線のうち、市道那378号線区間を、両側歩道の2車線道路に拡幅整備する。 ＜事業概要＞ ・事業期間：H25～31年度 ・整備延長：1,039m			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は、事業用地の取得及び道路整備工事を実施した。 【課題】 未取得用地の契約締結を行う必要がある。 JR・名鉄踏切拡幅工事に伴う協定の締結を行う必要がある。 また、踏切拡幅工事の際には交通規制（全面通行止）を行う必要がある。 【対策】 地権者との用地取得に向けた折衝を進める。 鉄道事業者との踏切拡幅工事委託の協定締結手続き等を進める。 交通規制（う回路）に関する広報、周知を行う。				

事業番号	72102	事業名	犬山東町線バイパス整備事業	担当課	道路課
事業概要	新鵜沼駅周辺の渋滞を解消するため、市東部の広域幹線道路として、都市計画道路犬山東町線バイパスのうち、犬山橋から新鵜沼駅前までの区間を整備する。 ＜事業概要＞ ・事業期間：H24～29年度 ・整備延長：307m			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は、発掘調査、事業用地の取得、道路整備工事を実施した。 【課題】 供用開始時（暫定供用）の交通処理計画について、地元及び関係機関との調整を行う必要がある。 【対策】 平成29年度の事業完了を目指し、事業の着手及び交通処理計画についての地元、関係機関との調整を進める。				

●施策の方向性②市内幹線道路・生活道路の整備

事業番号	72201	事業名	地区計画道路整備事業	担当課	都市計画課
事業概要	良好な環境の街区の形成を促進するため、必要な道路の整備を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 寄附・買収により、地区計画道路の用地取得を行い、道路整備を実施する。区画道路総本数218本のうち、整備済み25本、一部整備済み25本となっている。 【課題】 地区計画道路の整備路線の選定については毎年見直しを行っているが、道路計画区域内に建物や工作物などが支障となっているため、全区間整備が不可能であり、整備率が上がらない要因となっている。 【対策】 今後は、支障物件が少ない路線も整備対象として計画するなど、宅地需要が多い地区を重点的に路線調査を行い、着実な工事实施に努める。				

事業番号	72203	事業名	市道那837号線道路改良事業 (尾崎中央通り)	担当課	道路課
事業概要	老朽化が著しい車道舗装を打ち換え、両側にバリアフリー化歩道を整備することにより、通行車両と歩行者の安全を確保する。 <事業概要> ・事業期間:H20～30年度 ・整備延長:2,344m			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は、柄山地区(南西区間)の改良工事を施工、完了した。また、北洞地区(東区間)の測量設計を実施した。 【課題】 北洞地区の工事着手に向け、地元及び関係機関との調整を行う必要がある。 【対策】 工事の施工に際して、仮設歩道及び交通誘導員の適切な配置など十分な安全対策を行う。				

事業番号	72207	事業名	市道那1043号線外1道路改良事業 (さくら通り)	担当課	道路課
事業概要	市街地を結ぶ主要道路として、自転車、歩行者の安全及び交通利便性を図るため整備する。(さくら通り左岸側) <事業概要> ・事業期間:H25～29年度 ・整備延長:1,092m			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は、道路整備工事を実施した。 平成29年度で、事業完了の見込みである。 【課題】 事業の完了を目指し、地元や関係機関(河川管理者)との調整を図る必要がある。 【対策】 河川占用許可等に時間を要するため、年度内完了に向け、申請・設計業務を進める。				

事業番号	72208	事業名	市道那168号線外1道路改良事業	担当課	道路課
事業概要	市西部の主要道路として、自転車、歩行者の安全及び交通利便性を確保するため、いちょう通りと市道那692号線(旧県道)を結ぶ区間を整備する。(那加長塚町～山後町地内) ＜事業概要＞ ・事業期間:H25～30年度 ・整備延長:510m			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は、道路整備工事を実施した。 【課題】 地元や関係機関との調整を行う必要がある。 【対策】 事業費の確保に努める。				

事業番号	72209	事業名	市道那616号線道路改良事業	担当課	道路課
事業概要	市街地を結ぶ主要道路として、自転車、歩行者の安全及び交通利便性を図るため整備する。(那加雄飛ヶ丘町～那加昭南町) ＜事業概要＞ ・事業期間:H27～30年度 ・整備延長:152m			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は、事業用地取得、道路整備工事を実施した。 【課題】 全線に歩道を確保するため、未取得用地の契約締結を行う必要がある。 【対策】 地権者との用地取得に向け折衝を進める。				

事業番号	72210	事業名	鵜沼南町周辺生活道路整備事業	担当課	道路課
事業概要	犬山東町線バイパスの整備に合わせ、地区内の分断解消と主要道路への円滑な接続を目的に狭小道路の拡幅整備を行う。 ＜事業概要＞ ・事業期間：H25～28年度 ・整備延長：585m			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度に事業完了した。 【課題】 — 【対策】 —				

事業番号	72211	事業名	市道各443号線道路改良事業	担当課	道路課
事業概要	国道21号・名鉄芋ヶ瀬駅と鵜沼地区南部を結ぶ幹線道路として、自転車、歩行者の安全を確保し、交通の円滑化を図る。（かかみの通り北部） ＜事業概要＞ ・事業期間：H23～28年度 ・整備延長：314m			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度に事業完了した。 【課題】 — 【対策】 —				

事業番号	72213	事業名	狭あい道路整備事業	担当課	建築指導課
事業概要	生活道路の整備を行うため、道路後退する土地に対し、土地を寄付してもらうことを前提に、市が確定測量、所有権移転等を行い、狭あい道路の整備を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 防災や救急等の点から狭あい道路の拡幅の必要性等を窓口等で啓発し、市民の理解と事業の推進に努めた。 【課題】 住民の認知度もあがり、事業への関心度が高くなり協力を得ることが多くなってきたが、運用基準などの見直しを行い対象案件の拡大について認知度が低く周知の必要がある。 【対策】 防災・救急等の面から拡幅等を推進するために、建築を伴わない場合の特例等運用基準の見直しについて、窓口等で対象となる案件について啓発を図ることで、より多くの狭あい道路整備を進めていく。				

事業番号	72215	事業名	市道蘇北735号線外1道路改良事業(蘇原中央通り)	担当課	道路課
事業概要	地区における慢性的な交通停滞の解消を図るため、交差点内において右折車線を拡幅整備する。 ＜事業概要＞ ・事業期間：H28～31年度 ・整備延長：152m			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は、測量設計、事業用地取得を実施した。 【課題】 平成31年事業完了を目指し、事業用地取得、改良工事を行う。 店舗及び交通量等も多い路線のため、地元及び関係機関との調整を行う必要がある。 【対策】 信号機、電柱当の移設を行うため、関係機関との調整を進める。				

事業番号	72216	事業名	市道蘇北390号線外2道路改良事業 (かえで通り延伸)	担当課	道路課
事業概要	市の南北軸を形成する主要道路として、車両、歩行者の安全及び交通利便性を図るため整備する。(蘇原瑞穂町～蘇原大島町) <事業概要> ・事業期間:H28～33年度 ・整備延長:700m			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は、測量設計を実施した。 【課題】 事業用地の取得筆数が多く、また、工事着手については、用地取得が完了していることが条件である。 【対策】 用地取得に向け地権者との折衝を進める。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	上下水道・河川

●目指す姿

- 上水道、下水道が適切に整備、管理され、市民の快適な生活が確保されています。
- 雨水幹線、河川、貯留浸透施設の整備により、豪雨などによる浸水被害から市民の生命や財産が守られています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）各務原の水道水を安心して飲むことができると感じる市民の割合	79.9%	-	76.5%				UP	水道総務課
（客）下水道普及率	77.1%	79.4%	79.8%				83.5%	下水道課
（客）雨水幹線整備延長	37km	37.7km	37.9km				39km	河川公園課
（客）水道管路の耐震化率	23.6%	26.6%	28.2%				33.4%	水道施設課

●施策の方向性①水道水の安定供給

事業番号	73101	事業名	水道施設等更新事業	担当課	水道施設課
事業概要	水道水の安定供給のため、老朽施設等の設備・機器を更新整備する。			担当課評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 水道水の安定供給のため、老朽施設等の設備・機器を計画的に更新整備している。 【課題】 設備・機器の常態を見極め、適切な施設の修繕、更新計画を立案する必要がある。 水道施設を稼働しながら施行する必要があり、水質事故、断水事故等を起こさないよう施工することが必要である。 【対策】 日常点検等により、設備・機器の常態を的確に見極める。 水質事故、断水事故を未然に防ぐため、施工計画等を綿密に検討する。				

事業番号	73102	事業名	水道施設・設備耐震化(水道施設・配水管)整備事業	担当課	水道施設課
事業概要	水道管路について、老朽管布設替等により、地震等の災害に強い管種・継手を施工し、耐震化を図る。 水源地や配水池等の水道施設について、耐震性能が低い施設を順次、耐震補強する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 災害時におけるライフラインの確実な確保に向けて、耐震性を有しない老朽管路の耐震化を進めるとともに、基幹管路(導水管・送水管・配水本管)への耐震補強金具の設置により、耐震化率の向上に努めている。 計画に沿った事業実施により、目標どおり耐震化と耐震補強を進めることができています。 【課題】 昨年度は、国による算定基準の見直しにより、工事価格が高くなったため、布設延長増加に繋がる対策が必要である。また、水道施設を稼働しながらの施工となるため、水質事故、断水事故を起こさないよう十分に注意する必要がある。 【対策】 今後は、資材単価の見直しや小規模な工事をまとめて発注することにより、経費の抑制に努めるとともに、他機関の工事に併せて管路更新を行い、舗装復旧費の削減に取り組んでいく。 また、施工計画を綿密に検討し、事故を未然に防ぐ。				

●施策の方向性②公共下水道(汚水)の整備及び維持管理

事業番号	73201	事業名	下水道管渠布設事業	担当課	下水道課
事業概要	都市基盤としての汚水幹線等の下水道管渠を整備し、快適で衛生的な市民生活を確保するとともに、貴重な上水道の水源地である地下水の水質保全を確保する。			担当課 評価	事業の達成指標に対してあまり順調に進んでいない
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は、普及率の伸びに直結する面整備が少なく、幹線管渠の延長を伸ばす工事が主であったため、「事業の達成指標」を単純に年割した数値に達していない。 【課題】 面整備が少なかったことから、快適で衛生的な市民生活を確保する指標である普及率の伸びが鈍化している。 【対策】 更なるコスト縮減に取り組みながら面整備を優先的に進める。				

事業番号	73204	事業名	地方公営企業法適用化事業	担当課	下水道課
事業概要	下水道事業においては、未普及地域における下水道整備費や過去に整備された下水道施設などの老朽化に伴う更新投資費の増大や、人口減少に伴う料金収入の減少が見込まれているが、住民サービスを将来にわたり安定的に提供していくためには、中長期的な視点に立ち、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む必要がある。これらについて、的確に取り組むためには、貸借対照表や損益計算書等のいわゆる財務諸表の作成を通じ、自らの経営・資産等を正確に把握し、円滑に公営企業会計へ移行するよう取り組む。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は法適用の基本計画を策定した。 【課題】 平成32年度からの法適用に向け、支援業務を平成29年度から平成31年度で委託するため、各年度で実施する事業を確実にこなしていく必要がある。 【対策】 支援業務委託も含めた進捗管理を確実に行う。				

●施策の方向性③公共下水道(雨水)及び河川の整備

事業番号	73301	事業名	雨水施設整備事業 (雨水幹線・樋管改築・貯留施設)	担当課	河川公園課
事業概要	年々激化する集中豪雨により、家屋への浸水や道路冠水など、治水安全度が著しく低下していることから、市民の生命と財産を守るため、雨水幹線の整備を行う。また、都市化の進展による雨水の流出抑制を図るため、公共施設に貯留施設の整備を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 大雨による浸水被害を防止するため、公共下水道(雨水)事業において、雨水幹線や樋管及び貯留施設の整備を実施している。 【課題】 社会資本整備総合交付金による下水道事業において雨水施設整備を実施しているが、交付金の配分額が要求額に対して年度により変動するため、事業計画のとおりには進まない。 【対策】 浸水被害が頻発している区域を優先して、雨水幹線の整備を実施していく。また、雨水幹線の整備が遅れる区域においては、貯留施設など一時的に雨水を貯留する施設を整備して雨水の流出を抑制し、浸水被害の軽減を図る。				

事業番号	73302	事業名	排水路改良事業	担当課	河川公園課
事業概要	老朽化による破損や排水能力の不足により、浸水被害が発生している区域の治水安全度を確保するため、排水路の改修を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 那加甥田町地内の百曲第2排水区においては、土地が低い区域であることなど地形条件に課題があり、放流先の新境川の水位が上昇すると排水不能となり、毎年豪雨のたびに浸水被害が発生している。 【課題】 排水ポンプ施設を整備して強制排水することにより浸水被害の解消を図りたいが、放流先の新境川への影響を考慮すると放流量を制限する必要がある、排水ポンプの整備のみでは抜本的な解消は困難な状況である。そのため、今後の状況によっては那加第2小学校の校庭に貯留施設の整備を検討していく必要がある。 【対策】 新境川への放流部に排水ポンプ施設を整備して強制排水することにより、内水被害の軽減を図る。また、その他の排水路についても堆積土砂の浚渫や清掃など維持管理を強化していく。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	都市基盤の機能強化

●目指す姿

●路面舗装、歩道橋、橋梁等の道路構造物、公園施設、公共下水道施設の補修が計画的に行われ、既存の施設が大切に活用されています。

●補修工事の際に、施設の状況を踏まえ、補強や耐震などの機能強化が図られています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）身近な公園や道路などで再生が図られ、利用しやすくなったと感じる市民の割合	53.1%	-	50.5%				UP	河川公園課
（客）幹線道路の舗装打換実施路線数	-	1路線	3路線				6路線	道路課
（客）橋梁耐震補強・補修箇所数	-	2橋	3橋				15橋	道路課
（客）公園施設の長寿命化・リニューアル数	41箇所	56箇所	65箇所				85箇所	河川公園課

●施策の方向性①公共施設の長寿命化

事業番号	74101	事業名	橋梁長寿命化事業	担当課	道路課
事業概要	劣化・損傷により大きな社会的損失が生じることを避けるため、年次計画に基づき、橋梁の適切な維持管理修繕を行う。 ＜事業概要＞ ・事業期間：H23～31年度 ・整備数：28橋			担当課評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は、市内の定期点検及び長寿命化修繕工事を実施した。 【課題】 橋梁補修・耐震設計・工事については、平成20年に策定した長寿命化修繕計画により実施されているが、平成27年度から実施している定期点検（法定）の結果が反映されていない。 【対策】 橋梁長寿命化修繕計画について、定期点検結果等を基に、整備優先順位などの見直しを行い、事業を進める。				

事業番号	74102	事業名	公園施設長寿命化事業	担当課	河川公園課
事業概要	既存ストック(55公園施設)について、その改築・更新時期と費用の平準化を定めた公園施設長寿命化計画に基づき、改修工事を平成26年から11箇年にて実施する。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 国庫補助金の配分額次第で事業量が変更となる等の不確定要素があり、事業進捗の見込みが立ちにくい、現在策定されている長寿命化計画においては概ね計画どおりに進捗している。 【課題】 市が管理する180箇所の都市公園のうち、120箇所の公園については未だに長寿命化計画が策定されていないことから、修繕の必要性の全体が把握できていない。このため、真に老朽化が進んだ施設の取替えに対して速やかな対応ができないことや、計画的に修繕工事を進めていくことが困難である。 【対策】 H29年度に残りの120箇所の公園に対し長寿命化計画策定を実施する。また、全体の老朽度を把握すると共に、遊具点検等と連動した柔軟な計画の見直しを随時行う。				

事業番号	74103	事業名	市営住宅改修等整備事業	担当課	建築指導課
事業概要	市営住宅の長寿命化を行うため、順次、老朽化した施設の整備改修を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 市営住宅の長寿命化を行うため、水回りに関する、トイレ及び流し台の取り換え工事を行っている。平成28年度で、トイレと流し台の取り換え工事が終了した。しかし、およそ40年近く経過した排水管や給水管は鉄管で配管されており、耐用年数を過ぎてきているため、更新が必要である。 【課題】 給水管や排水管は、配管の点検や更新が行いにくい設計であるとともに、各部屋には入居者がいるため、工事には入居者の荷物の移動や生活に支障が出る。 【対策】 今後市営住宅を長寿命化していくには、給排水管は更新が不可欠である。管は現在的位置と違う位置に配管し管の更新を設計する。また、入居者の生活への負担を減らすため、空き部屋となった部屋で管の更新を行う。				

事業番号	74104	事業名	下水道長寿命化事業	担当課	下水道課
事業概要	下水道における事故の未然防止とライフサイクルコストの最小化を図るため、長寿命化計画に基づき改築更新を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 策定している長寿命化計画に基づき、老朽化が進んでいる管渠の更生及び布設替え等を予定通り行っている。 【課題】 国の補助配分が厳しくなっていることから、計画に遅れを生じる部分の下水道施設について突発的な事故が起こらないよう日常点検に努める必要がある。 【対策】 国庫補助採択が受けられるよう国に積極的に働きかけていくとともに、公共下水道全体のストックマネジメント計画を策定し、効率的な維持改修に努めていく。				

事業番号	74105	事業名	公園建物施設改修等整備事業	担当課	河川公園課
事業概要	公共施設(公園)長寿命化計画等に基づき、以下の施設における老朽化した建築施設等の改修を行う。 (対象施設:リバーサイド21、市民公園、各務野自然遺産の森、学びの森)			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 現在策定されている長寿命化計画においては概ね計画どおりに進捗している。 【課題】 年度ごとの事業費の平準化を図った計画としているが、施設の老朽化が急速に進捗した場合、取替え等に対して速やかな対応ができない。また、計画策定時から老朽化の進行が進み、施工時には計画時よりも工事費が増えることがある。 【対策】 施設の老朽度を的確に把握すると共に、柔軟な計画の見直しを随時行っていく。				

事業番号	74106	事業名	鵜沼空中歩道等長寿命化事業	担当課	都市計画課
事業概要	既存ストック(宇留摩庵、鵜沼空中歩道ほか)について、それらの改築・更新時期と費用の平準化を定めた公共施設長寿命化計画に基づき、維持補修工事を行う。			担当課 評価	事業の達成指標に対して順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成26年度に鵜沼空中歩道の定期点検を行った。また、公共施設長寿命化計画に基づき、平成30年に鵜沼駅前駐輪場の外壁塗装と新鵜沼駅前トイレ・空中歩道の屋根塗装を行うこととなっている。 【課題】 長寿命化計画には耐用年数を考慮して整備年度が定められているが、整備箇所の劣化の度合いを把握することで、改修が必要であるか再度確認するなど、予防保全型の改修計画の実行性と有効性を慎重に判断する必要がある。また、その判断基準が明確になっていない。 【対策】 構造物の状況把握に努めるために、部位に応じて点検記録簿を作成し、構造物の履歴を残し見える化させることで、改修の判断のひとつとしたい。また、長期的な視点で長寿命化計画の立案が可能となる。				

●施策の方向性②施設の高付加価値化

事業番号	74201	事業名	道路維持改良事業	担当課	道路課
事業概要	道路網全体の安全性を向上させるため、調査点検結果を踏まえ、舗装や構造物等の道路ストック修繕を行う。 <事業概要> 事業期間: H25～36年度 市内幹線道路舗装打換え ・社会資本整備総合交付金(市道鵜932、稲517、各10号線等) ・調整交付金(市道稲804、那28、那255号線など) 道路ストック防災修繕(歩道橋、道路照明灯、道路法面など)			担当課 評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成28年度は、道路ストックの点検、照明灯・法面の補修工事を実施した。 市道稲517・那804・稲804号線の、舗装打替工事を実施した。 【課題】 道路ストック老朽化による第三者被害を未然に防ぐため、点検、修繕等のサイクルの確立が必要である。 幹線道路舗装の老朽化に対し、計画的に修繕し安全な道路を維持する必要がある。 【対策】 道路ストックの総数把握と、点検結果に基づき、修繕工事の実施を進める。 緊急度が高い路線について、国の補助金等を活用し着実な進捗を図る。				

○総合計画－達成指標分析シート

基本目標	便利で快適に暮らせるまち（基盤整備）
施策の柱	公共交通

●目指す姿

- 地域住民が利用しやすい公共交通ネットワークが形成されています。
- ふれあいバス等が市民の移動手段として活発に利用されています。

●事業の達成指標

項 目 名	現 状 値	H27	H28	H29	H30	H31	目 標 値	担 当 課
（主）ふれあいバスを利用しやすいと感じる市民の割合	14.8%	-	15.6%				UP	商工振興課
（客）ふれあいバスの年間利用者数（年間）	135,620人	172,151人	199,249人				20万人以上	商工振興課

●施策の方向性①公共交通ネットワークの形成

事業番号	75101	事業名	公共交通ネットワーク形成事業	担当課	商工振興課
事業概要	鉄道、路線バス、ふれあいバスなど各路線の役割と確保すべきサービスを明確にするとともに、鉄道を軸に、路線バスやふれあいバスなど、多様な交通サービスが相互に連携した一体的な公共交通ネットワークを形成する。			担当課評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成27年10月にふれあいバスの再編を行い、新たな運行体系となって1年が経過したが、平成28年度の利用者数は199,249人で、平成27年度(172,151人)と比較して増加した。 乗降調査においてもふれあいバスから鉄道や路線バスへの乗継利用も一定数見られ、役割分担をしつつ、公共交通ネットワークを形成している。 【課題】 新たな路線やダイヤ、乗り継ぎ方法等について周知が足りない部分がある。 【対策】 地域での懇談会による意見交換や、市内イベントでのふれあいバスマップ配布、バスの乗り方教室等の利用促進活動を通じて、継続的にふれあいバス等公共交通の周知や利用方法等の理解促進を図る。				

●施策の方向性②ふれあいバスの運行

事業番号	75201	事業名	ふれあいバス運行事業	担当課	商工振興課
事業概要	地域の有効な移動手段として市民に愛され、持続的な運行が可能になるよう、地域住民、交通事業者、行政が一体となった取り組みを戦略的に進め、一層の利用促進に取り組む。			担当課評価	事業の達成指標に対して概ね順調に進んでいる
現状分析・課題・対策	【現状】 平成27年10月にふれあいバスの再編を行い、新たな運行体系となって1年が経過した。平成28年度の利用者数は199,249人で、平成27年度(172,151人)と比較して増加した。 【課題】 利用者数は増加となったが、年間利用者数200,000人以上の目標指数を達成できていないほか、その他公共交通網形成計画で定める満足度等、達成できていない指標がある。 新たな路線やダイヤ、乗り継ぎ方法等について周知が足りない部分がある。 再編後の個別路線ごとに、課題やニーズの整理及び分析が必要である。 【対策】 地域での懇談会による意見交換や、市内イベントでのふれあいバスマップ配布、バスの乗り方教室等の利用促進活動を通じて、継続的にふれあいバス等公共交通の周知や利用方法等の理解促進を図り、目標指数達成を目指す。 調査事業を実施し、個別路線ごとの課題整理や分析に取り組み、効果的・効率的な運行体系の検討を進める。				